岡崎むかし館企画展

昭和を駆け抜けた名鉄電車たち

令和2年3月13日(金)～8月31日(月)

※開催期間を延長します。

午前9時～午後7時(最終日は午後5時まで)

入場無料

私たちが利用している名鉄電車は、名古屋(押切町)から尾張地方と美濃地方に路線を延ばしていた名岐鉄道と名古屋(熱田)から知多半島と豊橋を結んで走る愛知電気鉄道が、1935(昭和10)年8月1日に合併して生まれました。その後、戦時中の交通政策により三河鉄道、知多鉄道、碧海鉄道、瀬戸電気鉄道などを合併し愛知・岐阜両県に路線網を広げる鉄道になりました。

岡崎を走る名鉄電車といえば、現在は、豊橋と岐阜を結ぶ名古屋本線のみですが、かつて昭和30年代半ばまでは市内を南北に結んで走る岡崎市内線が、昭和40年代初頭までは豊田市とを結んだ挙母線が走っていました。さらに、それよりもずっと前、昭和初期から太平洋戦争末期までは、岡崎駅から西尾を結んだ旧西尾線が走っていました。

今は想い出の彼方となった岡崎の三つの路線を含め、名鉄電車は複雑な歴史的背景を持つため、昭和の30年代から40年代にかけて、多種多様な電車が走り、鉄道ファンや模型ファンを魅了しました。

このたび開催する企画展「昭和を駆け抜けた名鉄電車たち」では、昭和30年代から50年代初頭にかけて岡崎を中心とした西三河地方で活躍した名車パノラマカーをはじめとする名鉄電車を50両以上のHOゲージ(縮尺:1/80)鉄道模型で展示しています。

旧大樹寺駅

期間中の催し

鉄道模型走行会　鉄道模型Nゲージ、HOゲージ車両走行

菅生川鉄橋

日　　時　7月11日(土) 午前10時～12時、午後1時～5時
　　7月12日(日) 午前10時～12時、午後1時～4時
場　　所　図書館交流プラザりぶら1階103会議室(岡崎むかし館となり)
参加方法　入場無料、30分入替制(見学時間は20分)、定員25人※
※コロナウイルス感染拡大防止のため一度に見学できる定員を制限しています。
定員に達した場合は、時間指定の入場整理券を配布します。
入場の際には、マスク着用、手指消毒等にご協力をお願いいたします。

☆本企画は、車両を見て楽しむもので、模型車両持ち込みでの運転会ではありません。

当初予定しておりました記念講演会「岡崎と名鉄電車～岡崎市内線と挙母線を中心として～」は中止となりました。

libra(りぶら)
岡崎市図書館交流プラザ

共催　モデルバーン名古屋、NPO法人名古屋レール・アーカイブス、岡崎市立中央図書館
協力　NRC、クラブリーブル

お問合せ　岡崎市図書館交流プラザ 岡崎むかし館
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
TEL0564-23-3111　FAX0564-23-3165
HPアドレス　http://www.libra.okazaki.aichi.jp